



RI会長
デイリー C.K. ホアン
(黄其光)



静岡東ロータリークラブ

会長/伊藤洋一郎 幹事/相原雄治

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
伊藤洋一郎

第 2707 回例会

平成 27 年 3 月 12 日 天候 晴

《司 会》 相原雄治 君

《合 唱》 「我等の生業」

《BGM》 「My Favorite Songs」

《ゲスト》 なし

《ビジター》 望月由美 君(静岡日本平RC)

《本日のお祝い》

お誕生日
該当者なし

結婚記念日
該当者なし

《会長挨拶要旨》

お彼岸



私たちは忘れてはならない大切なことは決して忘れてはならないと思います。3. 11への想いも私の心の中でも決して風化させてはいけないのだと思います。

ところで今日は、お彼岸

の話をしたと思います「お彼岸」は亡くなられた方への想いを伝えて、しのぶ行事です。

1. 来週は「お彼岸」です。そして3月21日は、春分の日です。そこでお彼岸についてお話をいしたいと思います。

『暑さ寒さも彼岸まで』といわれていますが、お彼岸には①春彼岸(3月21日頃の前夜7日間)、②秋彼岸(9月23日頃の前夜7日間)とがあります。年によってその時期は異なりますが、今年の春彼岸は3月18日が彼岸の入り3月21日が彼岸の中日、3月24日が彼岸明けです。お彼岸の中日を「春分の日」として、祝日にしています。

2. これはもともと、仏教の世界からの由来です。仏教では生死の海を渡って到達する悟りの世界を『彼岸』といいその反対側のことを、私たちの迷いや煩惱に満ちた世界を

『此岸(しがん)』といいます。彼岸は西にあるといわれ此岸は東にあるといわれています。太陽が真東から昇って真西に沈む秋分と春分は、彼岸から此岸へともっとも通じやすいと考えられました。そこでこの頃、すなわち春彼岸と秋彼岸の頃、先祖のお墓参りをして先祖供養をするようになったのです。

3. とところで『暑さ寒さも彼岸まで』の意味は、次のとおりです。春分と秋分は、いずれも二十四節気のひとつで暦の上では、春と秋の折り返し地点となります。春分についていえば、春分以降は昼が長くなってゆき寒さが和らぎ、暖かくなります。そこで『暑さ寒さも彼岸まで』というようになったのです。

4. とところで春分の日が彼岸の中日です。春分の日とは『自然をたたえ生物をいつくしむ』と定義づけられています。彼岸にはお供え物として「ぼたもち」と「おはぎ」があります。蛇足ですがぼたもちとおはぎはどう違うのでしょうか。実は、ぼたもちもおはぎも物自体は同じです。ぼたもちとは牡丹の季節つまり春に食べるので「牡丹餅(ぼたもち)」と呼ばれています。おはぎは萩の季節つまり、秋に食べるということで「お萩(おはぎ)」といいます。つまり呼び名が違うのです。

5. 「お彼岸」は日本人の自然との向き合い方の一つの例です。「お彼岸」は、迷い、悩み、煩惱に惑わされている「此岸(しがん)」の私たちが、あちら側の世界すなわち、彼岸の悟りの世界と通じるときでもあるといわれています。春のいざないに心をふるわせながらも、春分の日彼岸(あちら側)への悟りの気持ちに通じてみてはいかがでしょうか。

《会員卓話》

『新幹線四方山話』

小林 創 君



ご紹介いただきました小林でございます。私は国鉄民営分割後のJR東海に就職しましたが別に鉄道好きというわけではありません。ただ鉄道を安全で正確に運

行しているその統治機能には感心していました。入社後は人事に関する仕事が多かったのですが途中で鉄道の現業機関の管理者として転勤しました。

鉄道車両の定期検査は国土交通省令で定められ、新幹線ですと「仕業検査」「交番検査」「台車検査」「全般検査」の4種類の検査があります。「仕業検査」というのは、省令では2日に1回は実施することになっていますが、運行前点検と考えて良いでしょう。「交番検査」は主に個別の機器の検査および機能を確認する検査です。走行距離3万km以内もしくは30日以内に実施しなければなりません。「台車検査」は車両の重要な走行装置である台車を車体から取り外して分解し、詳細な検査をします。この検査は走行距離60万km以内もしくは1年6か月以内に実施されます。地球の外周が大体4万kmですから地球を15周くらいしたところで台車検査を実施する感じです。「全般検査」はオーバーホールです。あらゆるパーツについて細部を検査・整備します。この検査は走行距離120万km以内もしくは3年以内に実施します。地球30周分くらい走ると全般検査です。

私が車両基地に勤務していた平成7～8年当時は、すでに引退した0系、100系、300系という3種類の車両が入ってきました。0系は初代の新幹線です。100系は0系の後継車で基本スペックはあまり変わらないのですが少し精悍な感じで2階建て車両を連結しているのが特徴でした。そして300系はJRになって開発された新型車両で、見た目も性能も飛躍的に進歩した車両でした。この300系の投入により最高速度270km/h運転が可能になり、東京・新大阪間を2時間半で結ぶ「のぞみ」が誕生したわけです。新幹線は代が変わるたびに先頭形状が長くシャープになりますが、単にデザイン上の違いではありません。走行中の空気の圧力は速度の二乗に比例するので、速度が倍になると空気の圧力は4倍になります。在来線のような箱形の形状では効率的に速度向上することはできません。今走っているN700系の先頭部の長さは0系の3倍弱あります。パンタグラフも風切り音という騒音の原因になるのですが、今は2本で走行しています。初代0系の16両の編成ですと1両置きに8本ついていました。環境的な制約からも磨かれています。

静岡は東海道沿線ではちょうど良い位置関係にあります。今年、家康公没後400年ということで様々なイベントが計画されています。家康括りでも、東京では江戸城天守の再建に向けた運動があります。実現するかどうかは別にしても駿府城天守再建活動と機運が通じる感じもします。名古屋城も現行の鉄筋コンクリート天守を木造再建する運動があります。一昨年は本丸御殿が再建されました。京都と静岡を結ぶ歴史もあります。「葵祭」でよく知られる上賀茂神社から双葉葵を徳川家へ献上する「葵使」という儀式が1610年から大政奉還まで続いたそうです。「三葉葵」は双葉葵を本にデザインされました。家康が命じて上賀茂神社から駿府へ献上させたのが始まりということで、平成19年、家康駿府入場400年に合わせて復活しました。このように様々な切り口で、関係する地域と接点をつくり交流し、静岡文化を発信する機会を持てば良いと思います。そして、この交流に新幹線は一役

買うと思います。

最後になりますが、新幹線はこれからも安心して快適にご乗車いただける素晴らしい鉄道です。どうぞご利用ください。

《スマイル報告》

富井一矢 君

4月4日、とみ井がリニューアルオープンいたします。只今、大規模改装行事を行っており、お客様には大変ご迷惑をおかけしていますが、この度、1F2Fがとみ井となり最大40名様までご利用いただける大きなスペースに、伝統芸能静岡芸妓さんや皆様の用途に合わせてご利用いただける、ステージもごございます。お料理も様々なニーズにお応えできる様に、少しだけスタイルを変更いたします。詳細は追ってお知らせさせていただきたいと思います。たまには、CM的なスマイルをさせていただきます。

鈴木洋一 君

強風のため、フェリーは2日半止まりました。おはらいの意味を込めてスマイルします。

鈴木寿人 君

結婚記念日のお花をありがとうございます。マーガレット、ポピーなど沢山のお花で家の中も明るくなり家族もたいへん喜んでおります。皆様に感謝しスマイルをいたします。

川口尚宜 君

静銀機関誌に、山下会員の写真入りで新規事業の取組が紹介されていました。山下会員のチャレンジ精神に敬意を表しスマイル致します。もう一つ、コンビニ限定ブランド麒麟の美味しさにビックリしました。素晴らしいビールにスマイル!

大村幸代 君

新聞桂子 君

杉田至弘 君

私達は日本、オーストリア両政府後援の「UTAUDAIKU2015」に賛同し、3月3日ウイーン楽友協会「黄金の間」でウイーン少年合唱団を含むオーストリアの方々と共に「歓喜の歌」を歌ってきました。これは東日本大震災復興支援プロジェクトでシェテファン・ウ“ラダー指揮、ウイーンカンマーオーケストラの演奏、世界的メゾソプラノ マリアーノ・リボウ”シエックや日本の代表的バリトン甲斐栄次郎さんらがソリストを務めた素晴らしい演奏でした。

総勢200人の演奏が終了すると満員の客席から拍手と称賛のブラボーが鳴り止まず、それに応えて全員で「花を咲く」を歌い上げました。この収益金は福島県相馬市の震災遺児に寄付されます。私達の「第九」がいささかでも震災遺児やオーストリアの人たちとの交流に貢献できたことに感謝しスマイルします。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
3/12	54(53)	40	13	-	-	-
3/5	54(53)	40	13	-	-	-
2/26	54(53)	42	11	5	6	88.68%